

教団新報

定価 1部140円(本体133円+共200円)
予約購読料 1年分 5,000円
紙代のみ 3,500円
振替 00140-9-145275
本紙を購読ご希望の方は、前金を
そえて、お近くのキリスト教書店
へお申し込み下さい。

発行所 日本基督教団
169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18
日本キリスト教会館内 電話
03(3202)0546
FAX03(3207)3918
発行人 内藤留幸
編集主筆 竹澤知代志



秋田桜教会 (奥羽教区秋田地区)

メッセージ

ガラテヤの信徒への手紙 4章8〜20節

キリストの形成るまで



雲然俊美

途方に暮れている

パウロはガラテヤの教会の兄弟姉妹に対して、「あなたがたのことで途方に暮れている」(20節)と語りかけました。教会の人たちのことで途方に暮れている。この手紙を受け取ったガラテヤの教会の人たちはどのような思いでこの言葉を聞いたのでしょうか。

ここでパウロが途方に暮れているのは、かつてはまことの神を知らず、他の神々に奴隷として仕えていたガラテヤの人たちが、せっかくまことの神の御救いにあずかりながら、また逆戻りして、無力で頼りになるない諸霊の奴隷として仕えようとしている(8節以下)ということが原因でありました。

これはまた、教会形成に携わる者にとって共通の祈りでもあります。今日教会は様々な課題を負っています。伝道の不振、会員の高齢化、教会に通う子どもたちの減少、教会会計の問題等々、多くの課題、問題を

抱えております。

しかし、パウロの祈りをきちんと受けとめるなら、教会形成に共に携わる者にとって、会員が皆高齢になっ

主の御言葉を聞く

どうやらガラテヤの教会では、パウロが「あの者たちが(17節)と表現をするグループがあったようです。いわゆる問題グループが一人ひとりの内に形づくられていないということに

関わっている。しかし、それは善意からではなく、その熱心さによって、その人たちはガラテヤの人たちを自分に対して熱心なせよとしていたと言っている。けれどもパウロは、その人たちに批判すれば、あ

るいは排除すれば問題が解決しようか、非常に熱心に聞かされている。しかし、それは善意からではなく、その熱心さによって、その人たちはガラテヤの人たちを自分に対して熱心なせよとしていたと言っている。けれどもパウロは、その人たちに批判すれば、あ

るいは排除すれば問題が解決しようか、非常に熱心に聞かされている。しかし、それは善意からではなく、その熱心さによって、その人たちはガラテヤの人たちを自分に対して熱心なせよとしていたと言っている。けれどもパウロは、その人たちに批判すれば、あ

神から愛されている

ガラテヤの教会の兄弟姉妹は確かにキリストの福音にあずかりました。今は神を知っている、いや、むしろ神から知られているのに(9節)とあるように、このわたしが神を知っている、いや、神から知られているの

パウロは、自らがキリストの十字架の愛によって救われていることを深く知っているがゆえに、自ら進んでそのキリストに喜びをも

て仕えたのです。パウロは、自らがキリストの十字架の愛によって救われていることを深く知っているがゆえに、自ら進んでそのキリストに喜びをも

て仕えたのです。パウロは、自らがキリストの十字架の愛によって救われていることを深く知っているがゆえに、自ら進んでそのキリストに喜びをも

て仕えたのです。パウロは、自らがキリストの十字架の愛によって救われていることを深く知っているがゆえに、自ら進んでそのキリストに喜びをも

途方に暮れても行き詰まらず

パウロが語った「途方に暮れている」という言葉の意味は、通路が無い、あるいは道路が無い、また川などの渡し場が無いという意味です。人と人との間に、心通い合う通路が無い、言葉は交わすが心が通い合わないという状況です。パウロはガラテヤの教会の兄

弟姉妹との信仰の通路が無い、途方に暮れている。パウロ自身、その途方に暮れる中にこそ、伝道者として、説教者として、あ

るいは牧会者として自らが選ばれ、立てられていることの務めの重さと共に恵みをも覚えておりました。

「途方に暮れても失望せず」という表現は文語訳聖書では「為(せ)ん方(か)たつけれど希望(のぞみ)を失わず」とあります。人間の「為ん方」(なすべきこと、方策)が尽きても希望を失わない、神がこのわたしの身を用いて御業をなしてくださる。その希望を成るまで「共に労苦を担いたいと願います。日本の各地に建てられているキリストの体なる教会において、主の召しに応えてまいりましょう。」

(秋田桜教会牧師／
教団総会書記)

荒野声

▼野球賭博騒動も冷めないのに、八百長「欲望の赴くままに生活してあげける者たちが現れあざけて、こう言います。『ペトロ』3章3〜4節」

金銭的な欲望だけで相撲への愛はない、誇りもないと言っ

と語った根底にあることは、まさにこのことではないでしょうか。

追悼

竹前昇前教団総幹事

竹前昇先生を送る

小島誠志（松山番町教会牧師）

大きな人だった。体格もそうだが、人間の大きさを感じさせる人だった。

茫漠としていて、その広さも深さも量りがたいものがあった。そう、ちよつと海のように。

たいていの人には押さえどころがある。要所をつかめば全体像が浮び上がってくるような。

日本基督教団の転換期に、時を得て現れた総幹事だったと思う。

しかし、竹前先生はつかみどころのない人だった。シャープにも言う人で

機敏にこまかく対処するような動き方はない人だった。対症療法みたいなことはしなかった。

はなかった。先生の言葉は

うに見えた。しかし動いていたのだ。森のように。

あの大らかなところにすべての問題を受けとめていたのである。

すべてを受けとめて、大きく舵を切った。いつもそうだが、事柄が動いたあとには竹前総幹事の存在の力を知らされた。

日本基督教団はこの総幹事によって大きな方向転換をしたのだ。



小林利夫氏（隠退教師）

年農村伝道神学校を卒業、同年本造教会に赴任、久万教会、高知教会、佐川教会、丸岡教会を経て、94年より07年まで唐津教会を牧会し、隠退した。遺族は妻・山田成子さん。

事務局報

補教師登録

五十嵐実季、坪内時雄

(2010・11・27受允)

阿部昌弘、一森文彰

(2010・12・12受允)

正教師登録

澁谷弘祐

(2010・6・20受按)

三浦 啓

(2010・11・27受按)

五十嵐成見、北中晃子

木村智次

(2010・11・28受按)

八束 清

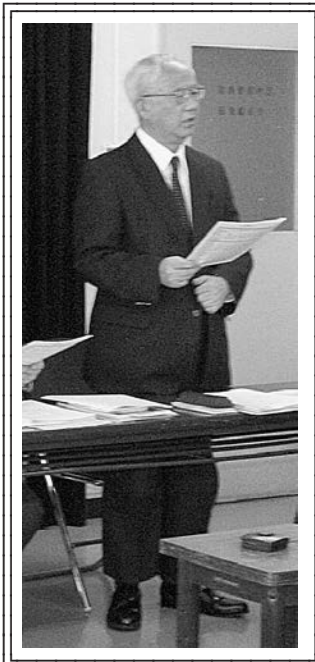
(2010・11・29受按)

杉本和道、渡邊宣博
(2010・11・30受按)
田邊良三
(2010・12・6受按)
海老原道宣、岡本拓也、
神谷 宣、古森敬子、
芹野 創、藤川義人、
望月達朗、木戸健一、
小西 淳、山口和憲
(2010・12・12受按)
橋本いずみ、藤井清邦
(2010・12・14受按)

飯能 就(担)五十嵐実季
小林 就(代)原田彰久
新瀉 就(主)長倉 望
就(主)小西一巳夫
周船寺 就(担)神崎典子
聖ヶ丘 就(代)松崎 豊
就(主)山北宣久
青山学院 就(教)山北宣久
豊島岡 就(担)飯島 信
就(主)田中牧人
紀南 就(主)本宮 広

指宿 就(担)本宮真理
就(主)伊藤嘉朗
就(代)日下部遺志
出雲のぞみ 就(代)宮部 望
就(主)足立 守
丸岡 就(主)中島信義
就(主)太田光夫
長崎馬町 就(代)原 和人
就(主)金 珍熙
竹前昇、芳賀康祐

齋藤正彦、中島信義
隠退より復帰
足立 守
教師改姓
堀 俊明、竹村俊明
教会設立
篠ノ井(第一種)
住所変更
大坂聖光 大阪市浪速区大
国1-3-14 レックピ
ル4F



第34総会期
第4回常議員会で

竹前 昇（隠退教師）

11年1月27日、逝去。78

歳。東京都に生まれる。

61年東京神学大学大学院

修了、同年頌栄教会に赴任

聖徒教会を経て、01年、07

年、日本基督教団総幹事を

務め、08年より伊勢崎教会

を代務し、10年隠退した。

遺族は妻・竹前ルリさん。



山田 暎氏（隠退教師）

10年12月29日、逝去。

5974

在日コリアンの人権に関わる課題を担う

第1回在日韓国朝鮮人連帯特設委員会

第37総会期第1回在日韓国朝鮮人連帯特設委員会が、1月26日（水）教団会議室で開催された。委員5名全員出席のもと議題に先

立って本委員会委員就任に当たってそれぞれの抱負を語り合った。1967年の「韓国三教会との協約」、1984年の「在日大韓基督教会との協約」と進められてきた交わりは、深められ

広げられていることを実感した。議事1、組織会では、招

集者の小橋孝一を前総会期に引き続き委員長に、長山信夫を書記に選任した。

議事2では、今期委員会の方針として小橋委員長は、前総会期の委員会報告を提示し、「在日大韓基督教会と教団との宣教協約に基

づき、常議員会のもとに設置され、全員常議員からなる委員会であること、同宣教協約に掲げられた諸課題のうち、在日コリアンの人権に関わる課題を、同教会と教団との宣教協力委員会

東京信徒会主催
講演会のお知らせ
50年前に作成された
教団宣教基礎理論を読み解く鍵…
マタイによる福音書5章13節「あなたがたは地の塩である」という御言葉をどのように読まれるでしょうか。主イエスは、「地の塩になれ」と言われたのでしょうか？ここに50年前に作成された教団宣教基本方策と宣教基礎理論を読み解く鍵があるように思います。

宣教基礎理論
— その問題点と見直しをめぐる —
講師：宮本義弘先生
(日本基督教団宣教研究所委員長)

入場無料

◎日時 2011年3月5日（土）
午後2時～4時半
◎会場 日本基督教団 鳥居坂教会 2階集会室
(港区六本木5-6-15、Tel.03-3401-8704)

☆どなたでもご参加ください。
参加ご希望の方はメール又はFAXで
連絡先：TEL / FAX 044-969-2024（鈴木）



後列左から、島田勝彦、深谷春男、小林貞夫、野村担当幹事
前列左から、小橋孝一、長山信夫

次回第2回委員会を3月22日午後開催を予定、在日大韓基督教会総幹事を表敬訪問の願いを確認し、閉会した。
(長山信夫報)

教団ニュースレター(KNL)のご紹介

KNLって、ご存知？

教団ニュースレター（KNL）は2011年2月号が通算361号となる英文広報紙である。1965年創刊当初はKyodanという名称で、海外及び在日宣教師向けに教団のニュースを年10回発信していた。やがてKyodan Newsletterとなり、発行責任者である総幹事のもと、現在はKNL編集委員会が年5回発行している。読者対象は、国内の宣教師、在外宣教師と退任宣教師、海外の関係教会及び団体、国内の希望者等で発行部数は550部。A4版6～8頁である。内容は教団からの報告の他、教団新報、教区報支区報や信徒の友誌、教団関係団体・学校等の機関誌から幅広く選択された記事を扱い、オリジナル記事も企画している。新報4709号に掲載された「宣教師からの声番外編 プゼル先生の働き。東義也氏」はKNL記事の日本語原稿である。KNLでは「宣教初期の女性宣教師の働き」というテーマでシリーズ化されている。

編集委員会の会議は年5回で、宣教師、牧師、信徒の委員が記事を提案し、世界宣教担当の加藤誠幹事と共に候補を選ぶ。委員は常に各方面にアンテナを張っている。

同送される部落解放センターの英文機関誌Crowned with Thornsと記事が重ならないよ

うに考慮している。そして掲載元と筆者の許可を得て、翻訳を担当者に依頼する。同じ内容が、英字になることで特殊な配慮が必要になる可能性があり、既出の記事にも筆者の判断を仰ぐ。また海外向けに背景解説が必要とされる際には添えている。災害時には状況を伝え、献金の結果報告を掲載することもある。

特に委員会で苦労している事は、二ヶ月に一度の編集会議で、約三ヶ月先の掲載記事を選ぶため、行事や集会報告の日時に大きな差が生じるので、既刊記事のタイムリーな掲載が難しい。そこで毎年開催される興味深い会合の紹介等は、翌年KNL用に事前に原稿依頼をするなどの工夫もしている。

過去、反響を呼んだ記事の一つが1980年代の「日本人の通過儀礼と教会の宣教」シリーズだそうだ。現在連載されているオリジナル記事は、総幹事日記と、前記の「宣教初期の女性宣教師の働きシリーズ」で関連する学校に原稿を依頼し、北の次は南にと地域が偏らないように努めている。また過去にも例があるが、昨年から改めて在外宣教師からの報告を掲載している。今後でも広報としてのアナウンスの役割と、全国の教会、関連団体等の活動を、変化ある内容と情報元から伝える方針で臨みたい。

◆翻訳ボランティア募集◆

これまでも宣教師方を始め、日本人協力者にも支えられ英訳は最終的に英文コピーエディターの目を通ることになっているが、諸事情で引き受け手が減少し、切実に協力者を求めている。

この機会に広く呼びかけさせて頂きたい。恐縮ながら現状ではボランティアという形になるが、もしご奉仕頂ける方、またはご推薦頂ける方があれば、是非とも下記へのお問い合わせ、ご連絡をお願いしたい！

(KNL編集委員長 川上善子)

◎連絡先 教団事務局 KNL 編集委員会担当
電話 03-3202-0546
e-mail<knl-c@uccj.org>



出版局ニュース

http://www.dpuccj.or.jp

- ★新刊から
『サウローキリスト教回心以前のパウロ』M・ヘンゲル・著 梅本直人・訳 キリスト者以前のパウロの出自、教育、迫害者としての姿などを、ユダヤ教やヘレニズム資料を駆使して考察する。2,520円
- 『古代末期に生きた最初の現代人ーアウグスティヌスに聴く』茂泉昭男・著 「正義の戦争」はあり得るのか……。現代の問題を1600年前に考察していた思想家の叡智をやさしく紹介する。1,260円
- 『改訂新版旧約聖書に強くなる本』浅見定雄・著 旧約各書の内容と構成を徹底解説。定評の入門書を「聖書新共同訳」準拠に全面改定。1,890円
- 『シンボルで綴る聖書』今橋朗・著 著者が書き起こした180点に及ぶシンボルを通して、神の救いの歴史を展開する。(CD-ROM付) 1,680円
- 『すべての生命にであえてよかった』桃井和馬フォトエッセイ 地球環境・紛争をテーマに世界140余国で取材を続ける写真家の、神の創造された生命と自然への賛歌。1,890円
- ★新シリーズ
『シリーズ・神学は語る』テーマ毎に現代の神学者たちの考察を簡潔に紹介。神学するためのガイド。
『聖書とキリスト教倫理』ウィリアムC・スポン・著 徳田信・訳 善く生きる

- ること、聖書を読むこと。両者を架橋する物とは。2,520円 ☆続刊予定『パウロの教会形成』ファンタメンタリズム』他
- 『絵本シリーズ・くまのデディ』朝起きてから夜眠るまで、子どもの一日の生活に息づく喜びや驚きを通して、神様の恵みを、さりげなく描く。『おはよう』L・フランシス他・文・L・クーパー・え さくまゆみこ・訳 ☆続刊予定『ごめんなき』4月刊／『おやすみなさ』6月刊 各1,050円
- ★好評シリーズ
『シリーズ・グループスタディ12章』「信徒の友」好評連載の「聖書研究」を単行本化。聖研テキストに。『フィリピの信徒への手紙』山崎英穂・著 1,260円(既刊)『十戒に学ぶ』村上伸・著 1,050円／『マルコによる福音書』大澤秀夫・著 1,050円／『コリントの信徒への手紙』小淵康而・著 1,260円／『ヨハネの黙示録』加藤昭昭・著 1,260円
- 『シリーズ・さんびかものがたり』全五巻 川端純四郎・著 『讃美歌21』収録曲中約半数の讃美歌に秘められたドラマを丁寧にたどる大好評のシリーズ。
- 『「いたたえよ、主の民」』この聖き夜に『Ⅲ主の復活ハレルヤ』Ⅳさあ、共に生きよう』各2,520円
- ★委託出版のご案内
お問い合わせご相談は、日本キリスト教団出版局出版サービスまで。



峰田 敏幸さん

キリストの香りをイラストにのせて



1956年福井県生まれ。野方町教団員。自作の聖句カードを手に。

職業はイラストレーター。一般のイラスト、デザインを手がける他、教師の友のイラスト、聖書を題材とした絵本のイラスト、聖句カード、伝道集会のチラシなど、聖書の世界をイラストで表現している。幼いころから漫画が大好きで、小学4年生頃から、兄と二人三脚で本格的に漫画を描き始める。もちろん将来の夢は漫画家だった。時は過ぎ、漫画家になるという夢を脇に置き、大学でフランス語を学んだ。教会に初めて足を運んだのは大学卒業直前。進路に悩む中で、自分の生活を支える中心的なものを求める思いから、教会の門をくぐった。自らの中途半端な性格を良く分かっていて故、洗礼を受ける前提

がなければ教会生活を長続きさせることは不可能だとの思いが強くあり、結果、2ヵ月後に洗礼を受けることになる。教会には言葉が満ち溢れていた。言語を学んだ経験を持つ自分にとって、神の言葉を聴く教会は、うつつけの世界であった。しかし、聴覚的要素溢れる教会に、視覚的要素が足りないことに物足りなさを感じることもあった。教会学校の奉仕を始め、その思いはますます強くなる。子どもたちへの伝道には、視覚的要素が不可欠である。自分にできることがあるのではないかと、自然にペンを走らせた。

目指すのは、信仰告白的イラストであり、伝道的イラストである。これからも、イラストを通して、正しくキリストの香りを放っていくものでありたいと願っている。

恵まれますーいの一言がー

越谷教会役員会で「教団議長」ということで協議会を開いた。教会や付属幼稚園に牧師・園長の不在が多くなるのでは」と不安や反対の意見を述べる役員もいた。当然なことだ。この反対の思いを抱く役員の心を和らげたのは「恵まれます」という一言だった。教団総会の次の週に国分寺教会から祈禱会出席者の寄せ書きが届いた。同教会の望月麻生牧師は、かつて、静岡英和女学院時代の中学一年修養会で出会った。現在も同修養会の講師に呼ばれ続けているが、その生徒だった。

クリスマスには母教会（大宮教会）から正田國麿呂牧師を始め76名の寄せ書きのクリスマス・カードが届いた。1月4日には東京の朝栞会で、1月4日には東京の朝栞会で、

「教団議長のために、越谷教会のために」祈ってくださいというところから、静岡英和女学院時代の中学一年修養会で出会った。現在も同修養会の講師に呼ばれ続けているが、その生徒だった。

(教団議長 石橋秀雄)